

平成30年10月22日

ご入居者及びご家族等の皆様へ

サンリッチ伊東
施設長 黒柳 達也

入居者運営懇談会のご報告について

10月4日に開催いたしました入居者懇談会について、次のとおりご報告させていただきます。

- 1.日 時 平成30年10月4日(木) 13時30分から14時25分
- 2.場 所 1階レストランにて
- 3.参加者 入居者21名+ご家族8名= 計29名、職員10名
- 4.挨拶

福家社長 ⇒ 日ごろは当施設の運営に際してご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、自動寝返り支援ベッドを導入して、職員の業務量の削減を行いました。当然入居者皆様へのサービスの質向上にもつながっております。

さて、現在平均寿命が延びておりますが、それに伴って認知症を患ってしまう入居者の方も増えております。認知症の症状は様々で、お1人おひとりに必要なサービス提供をするべく日々努力をしていますが、24時間徘徊されてしまうと人の力だけでは対応しきれない状況も予想されます。

そこで、本日はその対策についてご提案させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上、簡単に挨拶をさせていただきました。

司会者(山口 朋子「生活サービス課」)

⇒ それでは、議題に入らせていただきます。

5.議題

① 玄関自動ドアの電気ロック錠(テンキー)の設置について

黒柳施設長は、認知症徘徊予防対策及びセキュリティ対策として、玄関の自動ドアを電気ロック錠(テンキー)にしていきたいと考えております。玄関ドアを24時間電気ロックして、4桁の暗証番号を入力してご利用していただきますが、実際にはフロントの職員がセンサーで開けるようにしていくことを説明しました。

福家社長は、この電気ロック錠を設置すると、施設へ入館する場合には自由に入ることができます。出ていくときだけが4桁の暗証番号が必要ですが、フロントの職員が出来る限りセンサーを用いて対応していくこと、及び夜間は電気ロック錠を切って今までと同じように管理していくことを追加説明しました。

入居者 A 様

⇒ 自動ドアに物などが挟まってしっかり機能するかどうか心配である。

施設側回答

⇒ 管理をきちんとしていきますのでご安心ください。

入居者 A 様

⇒ 軽自動車の駐車場に普通の自動車を停めている。

入居者 B 様

⇒ 私が停めています。スペースが広いと感じたので。普通自動車は駄目ですか。

施設側回答

⇒ その場所は軽自動車を停める場所になっていますので、ご協力をお願いします。

入居者 A 様 ⇒ 4桁の暗証番号はどのように決めるのですか。

施設側回答

⇒ 4桁の暗証番号を忘れても構いません。表示盤の所に4桁の番号を掲示していきます。操作方法も分かりやすく表記していきます。

黒柳施設長は、他に意見などが無いことを確認した後、電気ロック錠設置の賛否をお願いしたところ、賛成が大多数であったので設置していくことになりました。

② その他

ア) レストランの調味料について

村松食事サービス課長は、レストランの各テーブルに用意している、「しょうゆとソース」の容器を真空的な物に変更したいことを提案しました。

変更理由は、

- ・酸化を防ぐため
- ・地震のときなどに倒れてもこぼれにくい
- ・衛生上も優れているため（ほこりや虫などが混入しにくい）などを説明しました。

福家社長は、なるべく酸化したものは食べない方がよいと思いますし、地震災害時のときにもこぼれにくい容器なので後始末に時間を要しないこともメリットがある

ことを追加説明しました。

黒柳施設長は、特に意見などがないことを確認した後、提案事項について賛否をお願いしたところ、賛成が大多数であったので「しょうゆとソース」の容器を変更していくことになりました。準備が出来次第変更していくことになりました。

イ) 黒柳施設長は、平成30年度のアンケート結果について、配布した資料に基づいてその結果を報告しました。入居者皆様からのご意見等を参考にさせていただき、今後の改善見直しを進めていきたいことも説明しました。

福家社長は、これからアンケート結果の検討会を行って、その内容を開示していくことを追加説明しました。

その他の質問

入居者C様

⇒ 入居して1か月程度しか経っていませんので気にしないでください。各階で何をしているか分かりませんし、退屈で過ごすことは辛い。歌をうたったりピアノを弾いたりしたい。

施設側回答

⇒ 定期的にコンサートを行ったり、外出支援を行ったり、パンなどの販売にきていただいたりしています。その都度お声をかけさせていただきますのでご参加ください。

入居者A様

⇒ 敷地内の自動車の走行について、業者さんなどがスピードを出しすぎるので注意していただきたい。

施設側回答

⇒ 危ないので、各業者さんに書面でお願いしていきます。

入居者A様 ⇒ 備品の持ち出しについての掲示があり、あまりよくない。

施設側回答

⇒ 共用部のトイレトーパーがなくなってしまうことが続いたために掲示させていただきました。今後状況をみて外していきたいと思えます。

入居者D様

⇒ 台風などで屋根が飛ばされて居室の家財などが濡れて被害を受けた場合の補償はどうなりますか。

施設側回答

⇒ 保険をかけていますので、どこまで補償されるか確認したいと思えます。

後日確認 ⇒ 運営懇談会後に建物保険の内容を確認したところ、台風などの自然災害の場合、屋根などの修理費は出るようですが、入居者皆様の家財は対象にならないようです。個人で家財保険に加入していれば適用になるようです。

入居者 D 様

⇒ 屋根の補強が必要かどうか。確認してもらいたい。

施設側回答

⇒ これから外壁の工事を予定しますので、そのときに業者さんに確認していただきます。補強する必要があるらばその対策を講じていきたいと思ひます。

入居者 E 様

⇒ この前の台風で居室に雨漏れがあった。対策をお願いしたい。

施設側回答

⇒ この懇談会終了後に居室を見させていただきたいと思ひます。

入居者 B 様

⇒ 災害時に備えた情報提供をお願いします。(自家発電のこと、通信方法のこと、食料の備蓄のこと、薬の備蓄のことについて)

施設側回答

⇒ 自家発電は東北大震災後に増強しています。燃料は190ℓまで備蓄可能です。これにより温泉を汲み上げるポンプを稼働させ、水の確保ができるようにしています。ガスもプロパンガスを使用しているので熱源の確保はされています。災害時の通信設備について施設単独で設置はしていません。食料品は10日間程度備蓄しています。薬も10日間は備蓄しています。

入居者 B 様

⇒ コストパフォーマンスのこともありますが、通信方法について検討していただきたい。

施設側回答

⇒ 検討をさせていただきたいと思ひます。

後日確認 ⇒ 懇談会後に調べたところ、衛生電話があるようですが、費用面を含めて一般的ではないようです。

例えば、NTT の場合ですと、災害伝言ダイヤルやインターネットを利用してほしいとのことで資料を送っていただきました。その写しを配布させていただきます。

今後ますます先端技術の社会になっていき、今よりは利便性がよくなる設備やシステムが開発されてくれば、その時点で検討させていただきたいと思ひます。この件で皆様にも情報

提供をお願いしたいと思います。

入居者D様

⇒ NTTドコモなどの基地局があれば簡単だと思う。

施設側回答

⇒ 調べて回答させていただきます。

後日確認 ⇒ 懇談会後に調べたところ、セキュリティの面から基地局を教えることはできないとの回答をいただきました。何れにしても基地局が故障などすれば電話も使用できないようです。

司会者（山口朋子）⇒ 他にご意見等はございませんか、ないようでしたら入居者運営懇談会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。14時25分に閉会した。

以上、ご入居者様及びご家族皆様等からのご意見並びに弊施設からの回答について、ご報告させていただきます。なお、本報告は当日のご意見・回答・後日確認した事項などを整理して配布させていただきました。

施設長